

取り組みは、保健福祉の分野のみならず、スポーツ、地域活動等多岐にわたるので、関係する部署と連携し、取り組んでいく。さらに高齢者の皆さんがよりスポーツに親しむ環境づくりとして体育施設の使用料減免措置等について、18年度から実践例として試行していきたい。

◆在宅利用者にも支援策を

問 障害者福祉は、自立支援法により利用者負担が増加する。しかも施設入所者には自己負担の減免や補助があるが、在宅利用者にはない。国の制度が改められるまでの間、市独自の支援策がないと、負担に耐えられない。(武居)

答 総合的に判断し、緊急性の高いものから実施する。

防塵マスク

配備は

◆防災現場でのアスベスト対策は

問 アスベスト対応対策で、消防現場での防塵マスクの配備はどうか。市内業者への情報提供、指導等は。(鈴木)

答 防塵マスクは松本広域では、9月に、塩尻、広丘消防

署とも配備されている。消防団については18年度予算で実施していく予定。業者へは県の指導指針、労働安全法等に基つき指導し、情報の提供にも努める。

◆地域外持込みごみへの対応は

問 ごみステーションへの地域外の持込みごみの対応はどうか。不法投棄とすれば、警告看板の設置はどうか。(中村)

答 不法投棄であり、ポイ捨て禁止条例の取締り対策と考えるので、取締りの強化や警告看板の設置など、地域役員と協議していく。

◆奈良井川水源環境の保全は

問 奈良井川水源環境保全のためプロジェクトチームの設置および森林整備等の基金創設の考えは。(森川)

答 榑川の森は重要な役割を担う、これを守り水源を確保していくことは責務である。国、県の補助を積極的に取り込み、森林整備を進めたい。

プロジェクトチームは推進対策の一つとして検討する。サントリー(株)提供の資金500万円を基金条理化し、森林の育成管理する。独自の基金の必要性は重々感ずる、今後検討する。

◆鳥インフルエンザ対策は

問 養鶏場の状況について衛生管理面を含めてどうなっているのか、また渡り鳥の把握をしているのか。(塩原)

答 市内の養鶏場の飼育状況は、ブロイラー6箇所18万羽、採卵鶏等で2箇所3万4千羽、小学校4校で18羽等約21万5千羽であり、千羽以上の農場に対し毎月1回インフルエンザの可能性を否定できない状況の有無等について家畜保健所に報告させるなど監視体制の強化を図っており、また渡り鳥については、今年1月の調査ではみどり湖等8箇所、鴨等24羽が確認されている。

高速バス駐車場

有料化を検討

◆高速バス駐車場の有料化を

問 利用者負担の原則、費用対効果から早期に有料化すべきでないか。(吉江)

答 近隣市町村の実態を調査している。放置自動車の追放もあるので、有料化を検討する。

◆ならい荘の経営状態と改築は

問 ならい荘の経営状況と改築の考えは。(永田)

答 2年連続で大幅マイナスで繰越損失が867万円で大変厳

しい。今年度は若干上向いている。経営改善に3ヶ年計画を立て取り組んでいる。改築はもう少し様子を見てから検討したい。当面の支援として貸貸料を軽減する。

◆榑川地区関係事業は

問 木曾平沢重伝建選定・マキヤ橋架け替え等、榑川地区事業の進捗状況は。(森川)

答 1月中に、選定申請し、3月の文化審議会に諮問を願う。マキヤ橋の架け替え、駐車場は、重点施策として、市総合計画の前期計画の中で進めたい。川入東線改良の早めの開通に向け進めている。奈良井宿、修理修景は合わせて4軒となっている。

◆国道開通での誘客は

問 国道361号の開通により、羽淵交差点での誘客などの対応について。(森川)

答 木曾広域サインにより誘客看板を3基設置する。国道にも案内看板の設置を頂く。交差点広場での案内所などは、交通量を見た中で検討する。

◆宗賀雨水対策総合的に研究

問 宗賀雨水対策は。(永田)

答 大雨時、床尾、平出区を中心に被害が発生している。調整池の設置、側溝整備等、総合的に研究する。



架け替え予定のマキヤ橋



経営改善が求められているならい荘



有料化が検討されている高速バス駐車場